

第18回

渡来人の里フォーラム

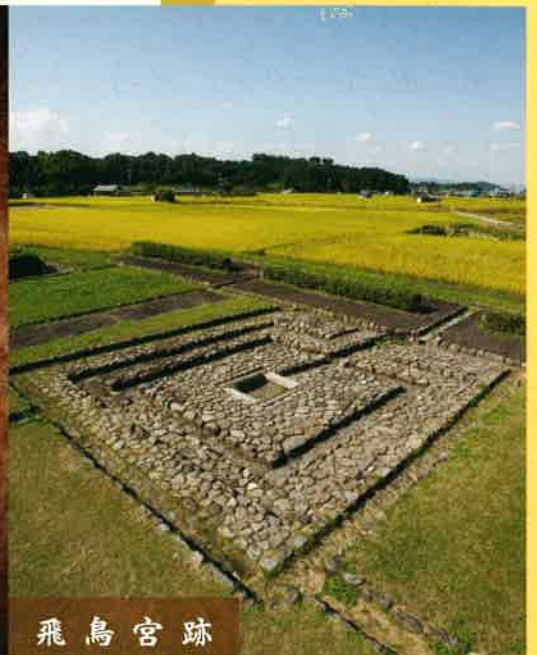
～高松塚古墳壁画発見50年に寄せて～



飛鳥寺 飛鳥大仏



国宝 高松塚古墳壁画
(西壁女子群像)



飛鳥宮跡

2022年

7月31日(日) 14:00～16:00 【受付・開場 13:30より】

会場：高麗神社 参集殿2階 大広間 / 参加費：無料

定員：80名 要申込み / ※本会場のほか、客殿1階にモニター会場(定員20名ほど)を準備いたします。こちらの申込みは不要です。

参加申込について 受付開始：7月9日(土)午前9:00より (10日以降は8:30～17:00)

電話もしくは直接高麗神社窓口にて<電話 042-989-1403>定員に達し次第、締め切りとなります。代理申込みは、本人含め4名までとなります。(ご家族は別)

第1部

13:30～

受付開始/開場

14:00～14:10

開会

14:10～15:00

講演「飛鳥・藤原」の世界文化遺産登録を目指して
—明日香まるごと博物館づくり—

講師 森川裕一氏

第2部

15:00～15:10

休憩

15:10～16:00

トークセッション

森川裕一氏・高麗文康(高麗神社 宮司)

16:00

閉会



奈良県明日香村
もりかお ゆういち
村長 森川 裕一氏

主催：高麗神社 / 協力：高麗1300 / 後援(予定)：埼玉県西部地域振興センター / 日高市
奈良県明日香村 / 日高市教育委員会 / 日高市観光協会 / 日高市国際交流協会 / 日高市商工会
飯能日高テレビ / (株)ブラウズ<文化新聞> 写真提供：明日香村/奈良県教育委員会/飛鳥寺/株式会社 便利堂

第18回 渡来人の里フォーラム ～高松塚古墳壁画発見50年に寄せて～

第一部 【講演会】

講師：明日香村 村長 森川裕一 氏

演題：「飛鳥・藤原」の世界文化遺産登録を目指して ―明日香まるごと博物館づくり―

第二部 【トークセッション】

森川裕一 氏 ・ 高麗文康 (高麗神社 宮司)

講演会 講師プロフィール

明日香村村長 森川裕一 (もりかわ ゆういち)

1956年3月生 明日香村 出身

- 1981年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1981年 奈良県庁入庁
- 2004年 奈良県企画部新長期ビジョン策定事務局次長
- 2006年 奈良県企画部総合政策課長
- 2008年 奈良県くらし創造部協働推進課長
- 2010年 奈良県立医科大学法人企画部長
- 2011年 奈良県立医科大学退職
- 2011年10月～ 現職(3期目)



たかまつづか 高松塚古墳とは

高松塚古墳は奈良県高市郡明日香村大字平田に所在する7世紀末から8世紀初頭にかけて造られた古墳です。古墳の頂上に松の木があったことから、高松山と呼ばれていた江戸時代の記録があります。直径23mの円墳で、二上山の凝灰岩切石を組み合わせた石室が納められており、石室内からは漆塗木棺の破片や海獣葡萄鏡、棺金具等の遺物が出土しました。

1972年3月21日、高松塚古墳の石室内の様子が明らかとなり、極彩色の壁画が描かれていることが明らかとなりました。この発見は「世紀の発見」として、文化財関連で初の全国紙一面のカラー写真記事として取り上げられました。この発見をきっかけとして、全国で考古学ブーム・飛鳥ブームが巻き起こり、同時に文化財保護や飛鳥保存の重要性が叫ばれることとなりました。 <出典：奈良県明日香村ホームページより>



国宝 高松塚古墳壁画
西壁女子群像
写真提供：株式会社 便利堂